

Rotary International District 2570
GOVERNOR's Monthly Letter

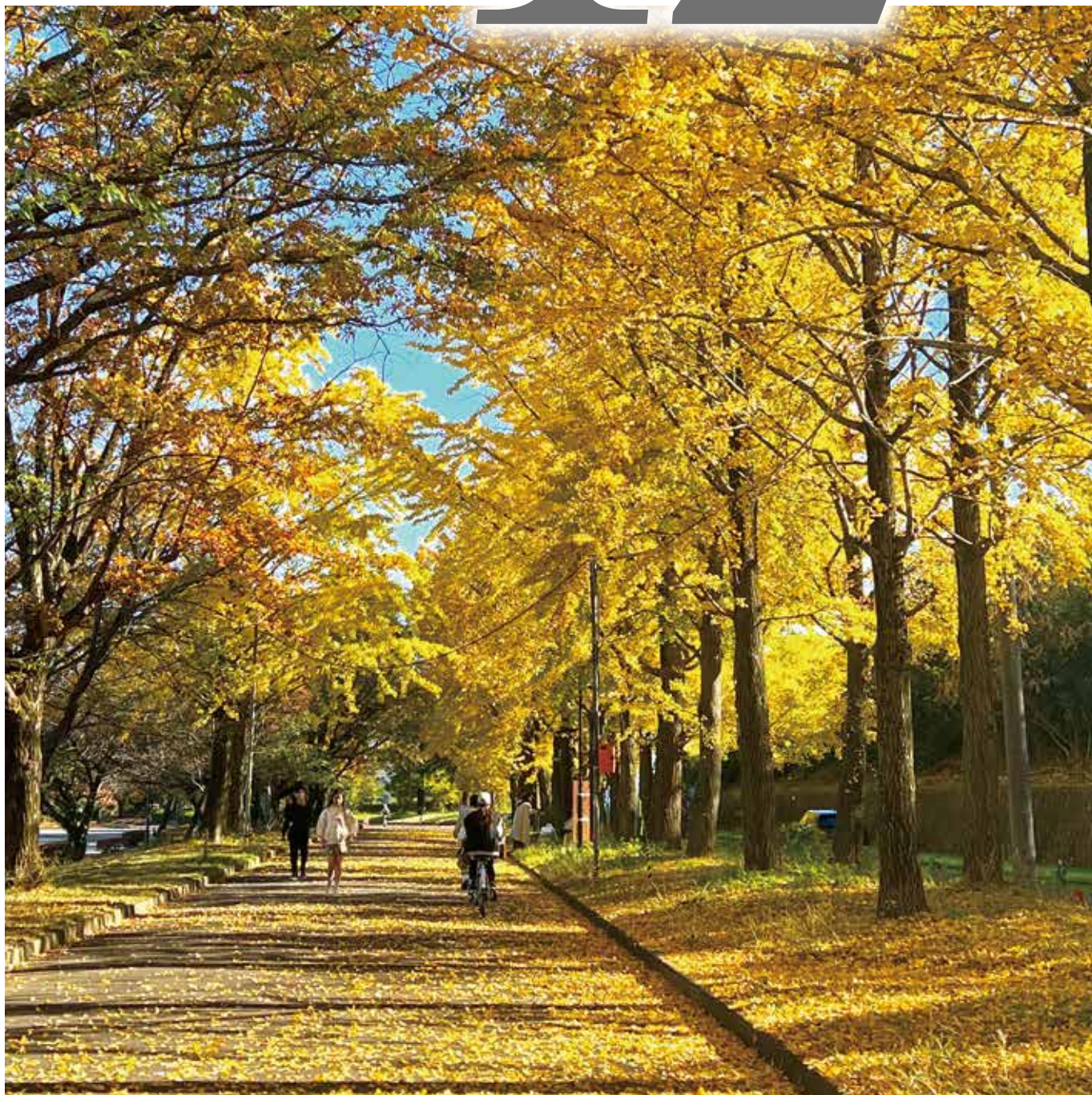
2025-2026年度 Vol.06

ガバナー月信

12

月号

2025.12.10



川越水上公園のイチヨウ並木

📍 川越水上公園
(川越市池辺 880)



**UNITE
FOR
GOOD**

第2570地区ガバナー

地区大会2025年11月22日23日

坂口ガバナーを偲んで

District Conference 2025 (November 22-23): In Memory of Governor Sakaguchi

2025-26年度 国際ロータリー
第2570地区 ガバナー

相原茂吉 (川越RC)

Aihara Mokichi



10月初め、秩父ロータリーの原島さん（ガバナーエレクト）から電話がありました。「秩父RCの公式訪問、坂口さんから延期して欲しいと言われたんだけど、どうしましたか？」

この電話を受けたとき、私は大したことではないと思い、気軽に坂口さんに電話しました。「あれ、早いですね。実は、肺に影があり、こんど検査入院する事になったんです。」

聞けば、背中が痛くて順天堂に検査入院するとのこと。一瞬、不安がよぎりましたが、「そうですかお大事に、じゃあ原島さんにはそう言うておきますね」それが、坂口さんとの最後の会話でした。

その後、しばらく連絡なし。地区からは年内のガバナーに関する行事はすべて延期という配信が出された。他クラブから公式訪問をどうするのか？また11月にせまった地区大会をどうするのか？多くの問いに対し、ラインで尋ねても満足な返信がなく、時間だけが刻々と過ぎていきました。

10月の終わり、遂に坂口さんの奥様から電話がありました。坂口さんは肺病、すでに骨など広範囲に転移していて、痛み止めと治療でかなり参っている、なので電話やメールは非常に厳しい状態であること。地区大会については、まず無理だからそちらでいいように進めてください、ただ本人はたとえ車椅子でも出席したいと言っていますが、感染症などを考えると到底無理だとは思いますが、心得ておいてください、、、とのことでした。

ある程度予想はしていたものの、その電話を受けたと

きは、思わず胸が詰まりました。

あんなにRotary が好きで、しかも地区大会はガバナーの最高の晴れ舞台なのに！

頭の中を、いろいろな事が走馬灯のように回り始めました。順天堂で病と必死に闘っている坂口さん、さぞかしつらい事だろう、、奥さんにお見舞いの打診をしたところ、ご承知の通り主人は人に弱みを見せないで、勘弁してやってください、との事でした。

地区大会はまじかに迫るし、残った公式訪問はどうするのか？

すぐにパストガバナーの立原さんに連絡、「やっぱりそうだったか、、、」しばらくの沈黙の後「よし、これから実行委員長の山田やみんなに報告して、覚悟をもって、なんとしても地区大会をやりとげよう。相原、よろしく頼む」と言われました。

翌日から私の毎日は全く変わりました。

まずは、栗原地区幹事と5人のガバナー補佐との事の次第の説明から始まりました。そして公式訪問や委員会などの日にちの再設定、そして何としても地区大会の決行です。

何としても地区大会を成功させなければならない。副ガバナーとしてどうあるべきか？

そもそも地区大会開催の目的はRI会長代理を招いてRI会長のテーマやRIのメッセージを伝える事、そしてガバナーは自分のテーマを皆さんにつたえ、会員を鼓舞する事です。私は5年前にガバナーは務めたものの、今年は

フロリダの国際協議会（全世界のガバナーエレクトが義務出席する約1週間の海外セミナー）はもちろん出ていないし、地区のテーマは坂口さんが選んだものであるし、先ずはそこからのスタートでした。

一番伝えなければならないのはガバナーメッセージです。これについては、朝霞RCの大畑さんが坂口ガバナーの公式訪問時の動画をおくってくれたので、大変助かりました。

地区大会の実行については、幸いな事に、坂口Gのシナリオ通り、既に山田実行委員長が完璧な組織を構築してありました。また、人材面では栗原幹事を中心とした副幹事達に強力な精鋭が揃っておりました。あとは各部門の役割をしっかりと担ってもらう事、連絡を密にして、漏れのないように情報の共有をすること、そして本番までに健康に気を付ける事、でした。

式典プログラムも晩餐会プログラムもアトラクション、講演など、全て予定通り遂行されればなんの問題もない状態にはなっておりました。とは言え、進行プログラムや来賓の確認など、細かい点のチェックが必要です。特に目まぐるしく変わる来賓。これには吉澤川越RC会長が本当に骨を折ってくれました。地区大会プログラムが完成したのは、ぎりぎりセーフで、山田委員長を中心に担当会員が徹夜で仕上げてくれました。

今更のように川越RCの面々が頼もしいと思いました。後は計画通り実行するのみ。

地区大会の前日は、多くのメンバーが夜遅くまで、資料や記念品の袋詰め、約1700袋の共同作業。会社へ帰れば、みんな「長」と名の付く人ばかりなのに、一兵卒として頑張ってくれた姿には只管感謝の気持ちでいっぱいでした。

そして11月21日本番前夜、坂口Gから「よろしくお願いします」のラインが一言だけ入っておりました。ガバナーの最高の晴れ舞台である地区大会に、病と闘っている坂口ガバナーの心境はいかなるものか、そう思うと胸がいっぱいになりました。

11月22日いよいよ本番です。

スタッフの集合は9時だったにも拘わらず、8時30分にはもうすでに多くのメンバーが集まっておりました。机

の配備、座席札、水、資料、記念品、受付、胸章、揮、弁当などなど。プリンスの大広間に並べてある沢山の座席やテーブル、それはそれは壮観でした。

しばらくして映像を一手に担ってくれている本庄RCの金井さん部隊が到着。マイクや音響のテストが始まると、いよいよ本番という気持ちで盛り上がってきました。

しばらくして坂口さんの奥様が来られました。膝を悪くして歩行がままならないにもかかわらず、順天堂に入院中のご主人のお見舞いを毎日欠かさない奥様、既に二カ月以上は経過しているので、さぞかしお疲れの筈ですが、毅然とした姿勢で皆さんに御礼を申ししておりました。

開催に先立ち、緊張した趣で栗原地区幹事の言葉「本日は坂口ガバナーが体調を崩し、出席が叶わなかったので相原副ガバナーが、坂口Gに変わりガバナー職を担います。」

私は、みなさんに一礼をして壇上にあがり、ガバナー席に着席。

そしていよいよ点鐘です。国家斉唱、今泉大会会長挨拶、ガバナー挨拶、ガバナーメッセージ代読、決議案などの審議採択、粛々と本会議が進み、なんとか無事に終了しました。

ひきつづき晩餐会です。晩餐会は坂口ガバナーの肝いりです。

司会は小林さんとプリンスホテルの支配人の津田さんです。

来賓紹介の時に撮影カメラが追うので、当日の出欠と席次には非常に苦労しました。

坂口ガバナーと同期のガバナー達が他地区から大勢駆けつけてくれて花を添えてくれました。アトラクションの木やり・梯子乗り、浅草芸者や幫間による和芸は、大いに盛り上がりました。

山田大会実行委員長は、その経費について非常に心配しておりましたが、皆さんにできるだけ小江戸川越の名の通り、川越らしさをしっかり味わっていただきたいという坂口ガバナーの思いと、川越ロータリーの名誉にかけていう事で予定通り決行しました。結果、大成功。

晩餐会の後も、二次会、3次会とつづき夜中の3時まで栗原幹事は同期ガバナーのお付き合いをしてくれました。

第2570地区ガバナー

翌日のエクスカージョンも、参加人数が当初よりも大幅に増えましたが、小川菊の小川委員長をはじめとしたメンバー達の誠心誠意のおもてなしに、来賓の皆様は非常に満足してくださいました。特に小川菊の鰻は絶賛でした。

23日の式典。その日の朝も8時集合で、準備、準備、準備、マイクや音量、BGMのセッティング、リハーサル、など真剣そのもの。映像をお願いした金井さんはまるでテレビのディレクターの様でした。

吉澤川越RC会長の挨拶「本日はいよいよ本番です。みなさんにたくさんのご負担をかけますが、よろしくお願いします」

気合の入った山田実行委員長も「ミスがあると思いますが、がんばってください」の挨拶でスタートです。

いよいよ式典が始まりました。物故者の黙祷。そして知事・市長の入場からのスタートです。

入場についてはBGMに合わせて何度も歩く速度の練習の成果あって、完璧なスタートでした。

点鐘、国家斉唱、開会挨拶、歓迎挨拶、そしてガバナーの挨拶です。

この部分が私にとっては一番の難題でした。どうすれば坂口ガバナーの思いとメッセージをみなさんに伝える事ができるか。私なりに何度も原稿を書き直しました。坂口ガバナーが一番伝えたい事は何か、それは「強いクラブづくり」だったと思います。どうすれば強いクラブが作れるか？それは会員一人ひとりがロータリーを学ぶ事。この事を、いつも坂口ガバナーは言われておりました。親睦や奉仕は勿論大事である、でも組織には一定のルールが必要であり、この事を会員各位が認識する事こそ、強いクラブ作りの第一歩であると。

その後、青少年プログラム、各種表彰、講演。そして最後の各クラブ紹介は、例年通りガバナー補佐のみなさんと全てのクラブ会長に登壇して頂き、30秒スピーチ。式典も大過なく、まずまず順調にこなせたと感じました。

そして最後の大締めめの挨拶に川越RCの重鎮である立原パストガバナーが謝辞と入院中の坂口ガバナーへのエールで終了しました。点鐘。

終わってから地区内外の多くの方々から「いい地区大会だったね」とお褒めのお言葉を頂戴いたしました。

川越RCの皆さんは本当にお疲れだったと思いますが、達成感で満たされたと思います。

本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

坂口ガバナーにはラインで「無事終了しました、奥様も立派に振舞われておりました」と報告。「ありがとうございました。ひたすら感謝感謝です」というラインが最後でした。

そして、坂口ガバナーは地区大会の成功を見届けるように11月28日深夜、そっと旅立たれました。

私がガバナーの時の地区大会は、坂口ガバナーが地区幹事として、先頭にたって、獅子奮迅の活躍、旗を振ってくれました。あれから5年経過して今回の地区大会、いたい誰がこのようなドラマを想像したでしょう。

今回の地区大会を通して感じた一番の事は、昔から育まれてきた川越RCの歴史と伝統がしっかりと継承されていることです。普段は無関心を装っていても、いざ鎌倉の時は一致団結して事にあたる、そんなクラブの強さと頼もしさ、DNAを感じました。

Rotaryを心から愛し、夢中で勉強し、地区内には多くの坂口ファンが生まれ、そしておそらく誰よりもロータリアンである事に誇りを感じていた坂口ガバナー。

その坂口ガバナーが先輩達から伝承し、そして残してくれたもの、それは川越ロータリーの精神であり、今回みごとに演じてくれました。この事をまた次の世代につないでいくことが私達の使命であると思います。

最後になりますが、坂口ガバナーのご冥福を心からお祈りするとともに、地区大会を成功に導いて下さった川越RCの皆様を重ねて感謝もうしあげます。

そして、地区内のロータリアンの皆様には、改めて坂口ガバナーに対する温かいご懇情に、本人に代わりまして、重ねて厚く感謝申し上げます。ありがとうございました。

国際ロータリー第2570地区の益々の発展と皆様のご多幸をお祈りし、以上地区大会の報告とさせていただきます。

公共イメージ委員会

静かに息づくポリオ根絶への歩み

A Quiet but Steady Journey Toward Polio Eradication

公共イメージ委員会
委員長

須田礼子 (本庄RC)

Suda Reiko



今年も各地で、ポリオ根絶への強い願いが様々な行動となって表れました。

東松山では恒例となったスリーデーマーチにて、赤いポリオTシャツを身にまとったロータリアンが市民とともに歩く姿が見られました。

“ともに歩く”という行動そのものが、ポリオに対する関心を社会にひらいていく力になっていると毎年感じます。

さらに今年は社会奉仕委員会による、第2770地区と合同のスパーカーイベントが企画され、執り行われました。

公共イメージ委員会としても参加させていただきましたが、雨天の影響もあり、一般の方の目に触れる機会が想定していた程は確保できなかったことが正直に言えば心残りでした。それでも、地区の垣根を越えて一つの目的のもとにロータリアンが結束した姿には、大きな意義があったと思っています。

成果がすぐに数字で表れないことは我々の誰もが解っていることですが、活動は確かに未来へ種を蒔いていると信じています。

継続こそが社会への浸透を生み、理解を育て、支援を呼び起こす。ポリオ根絶の願いを丁寧に、そしてこれからも着実に伝えていきたいと感じています。

そして同時に私たちは、限られた仲間の中だけで完結するのではなく、より多くの人目に触れるかたちで『良い活動』を発信し続けていくこと。それが理解を生み、応援を呼び、より大きな奉仕を可能にする力へとつながると信じて楽しく喜びを感じながらロータリーライフを満喫すること。それらがきっと明るい世界を作り出すカギとなると信じております。

ポリオ根絶への願いを、これからも丁寧に、粘り強く社会へ届けていきたいと思っています。



鶴ヶ島RC

米山奨学生スピーチコンテスト

Yoneyama Scholarship Student Speech Contest

(鶴ヶ島 RC 主催)

9月23日（日）アルカーサル迎賓館川越におきまして「奨学生から見た日本のいいところ・母国のいいところ」というテーマにて第五回米山奨学生スピーチコンテストを開催いたしました。坂口孝ガバナーをはじめとする来賓の皆様をお迎えし、参加した9名の奨学生を審査していただきました。最初は緊張が見られた奨学生たちでしたが、登壇後は堂々と日本語で自身の想いを熱く語る姿がとても印象的でした。聴き手の我々にとっても彼らの出身国との文化の違いに触れ、多くのことを学ぶ機会となりました。今回はベトナム出身の奨学生マックジャハンさん（入間RC）が会長賞を受賞しました。奨学生の皆さんの日本と母国の懸け橋になりたいという想いが未来に着実につながるよう応援していきたいと思います。



RLI委員会

ロータリー・リーダーシップ研究会 (RLI) パートⅡ開催報告

Report on the Rotary Leadership Institute - Part II

RLI委員会
委員長

新井啓介 (行田さくらRC)

Arai Keisuke



2025年10月25日(土曜)午前9時、国立女性教育会館で、RLIパートⅡが、坂本元彦RLI日本支部地区代表委員による点鐘・相原茂吉地区ファシリテーター(FT)の挨拶により開催されました。

40名の参加者と15名のファシリテーターが、パートⅡ「私たちのクラブ」をテーマに、次の6つのセッションについて6時限にわたりディスカッションを行いました。

1. 成功に導くための計画
2. 会員を勧誘する
3. チーム作りとクラブコミュニケーション
4. ロータリー米山記念奨学事業
5. 財団Ⅱ 目標とする奉仕
6. 強いクラブを創る

参加者は、5～6名のクラスに分かれ、2～3名のFTの下、各セッションで、「クラブの強みと弱みを分析し戦略計画を立案」・「よいロータリアンの特性」・「委員会組織とクラブのオープンなコミュニケーション」・「外国人留学生を支援する意義」・「財団の使命と補助金モデル」・「時代によって変わるロータリーに対する社会の期待」等を、自由にディスカッションしました。

6時限終了後、坂本地区代表委員からの講評で、「ロータリーは楽しく学んで奉仕をすることが大切。それを学ぶのがRLIだ。」とのお話を頂きました。

次回パートⅢは、「私のロータリーの旅」をテーマに開催され、パートⅠ～Ⅲを終了した方を対象に、2026年2月には、ファシリテーター養成セミナーが開催されます。皆様のご参加をお待ちしております。



青少年プログラム委員会

青少年交換オリエンテーション

Rotary Youth Exchange Orientation

青少年プログラム委員会
統轄委員長

高橋貴子

(行田さくらRC)

Takahashi Takako



11月23日に開催された地区大会「青少年のつどい」では、多くのロータリアン、ローターアクト、インターアクト、交換留学生、ローテックス、ロータリー米山奨学生そして各学友、が集い、世代と国籍を越えた学びの場が実現しました。ご参加いただいた皆さまに深く感謝申し上げます。

本年度のテーマ「平和を紡ぐロータリー」を体現する取り組みとして、当日は“平和”をテーマにしたテーブルワークを実施しました。若者たちは、日常の中にある平和、地域で守るべき

平和、そして世界へ広がる平和について活発に意見を交わし、それぞれの視点で「平和を実現するために自分ができること」を真剣に考えてくれました。

続くグループ発表では、言語や文化の違いを超えて協力し合い、若者ならではの柔軟な発想と未来への希望を力強く示してくれました。特に交換留学生や米山奨学生の意見には、国際理解の最前線に立つ若者としてのリアルな視点があり、多くの参加者に深い気づきと感動を与えました。



ロータリーが育む青少年奉仕と米山奨学事業は、まさに平和への長期的投資です。対話し、尊重し、協働する姿勢を身につけた若者こそが、次世代の「平和の担い手」となっていきます。地区としても引き続き、若者の挑戦を全力で支援し、「平和を紡ぐロータリー」の実現に向けてともに歩んでまいります。



ガバナー公式訪問

9/25
(木)

所沢東 R C

会長 藤 永 博
幹事 奥 野 浩

9月25日木曜日、プラススペース所沢において行われました。

まずは、新入会員との研修を行っていただきました。坂口ガバナーから新入会員へ、ロータリークラブに対する疑問・質問はありませんか、とお声がけがあり、その後は「ロータリークラブの行動」「ポリオ」「ウクライナ問題」についての質問と解説を頂きました。

ガバナー訪問例会卓話においては、ガバナーのお話を聞き、古参の会員も考えさせられました。

クラブ協議会では「会員増強について」のディベートを行いました。サブタイトルは「より活発なロータリー活動を行っていくことができるのは会員数の多い大規模なクラブか、現在の所沢東クラブのような中規模クラブか？」です。クラブの規模が大きければ、クラブの財政的には望ましいことではありますが、現在の規模ならばクラブの方向性を示しやすい、現在の状況から徐々に会員を増やして相互理解を深めながら拡大したい、という結論になりました。





表彰 Award Collection

PHF ボール・ハリス・フェロー	MPHF マルチプル・ボール・ハリス・フェロー	PHS ボール・ハリス・ソサエティ	BF ベネファクター
MD メジャードナー	米山 米山功労者	米山M 米山功労者マルチプル	米山MD 米山功労者メジャードナー

MPHF ×1  志木 榎本 秀夫	MPHF ×1  志木 西川 和人	MPHF ×2  志木 小泉 市朗	MPHF ×2  志木 上原 実	MPHF ×2  富士見 斉藤 英雄
MPHF ×1  富士見 萩原 喜八郎	MPHF ×3  富士見 栗原 平	MPHF ×1  新座 岡本 比呂志	MPHF ×2 米山 ×2  所沢 梅沢 好文	MPHF ×6 米山M ×5  新所沢 江崎 浩史
PHF ×1  所沢西 宮崎 光正	MPHF ×7  所沢西 内田 学	MPHF ×2  本庄 五十嵐 敦子	MPHF ×2  熊谷 田中 哲夫	MPHF ×2  熊谷 松崎 邦夫
MPHF ×2  羽生 菅原 好章	PHF ×1  羽生 萩野 博恵	MPHF ×3  行田さくら 松本 健一	MPHF ×1  行田さくら 藤倉 武	PHF ×1  行田さくら 飯塚 秀司
PHF ×1  行田さくら 江口 明	米山 ×1  所沢 井花 佳彦	米山M ×8  新所沢 幸森 康夫	米山 ×1  所沢西 徳江 和宏	



新会員紹介

New Member Introduction


氏 名	井上 勝博	坂戸
入会年月日	2025年10月16日	
勤務先	株式会社 井上不動産	
役 職	代表取締役	
生年月日	1968年5月1日	
紹介者	菅野雄介	




氏 名	長島 啓真	志木
入会年月日	2025年11月5日	
勤務先	㈱長島商店	
役 職	取締役	
生年月日	1976年4月30日	
紹介者	遠藤貴博・高橋健一郎	



氏 名	山形 碧	志木
入会年月日	2025年11月5日	
勤務先	フォーエース・カンパニー㈱	
役 職	専務取締役	
生年月日	1992年7月9日	
紹介者	遠藤貴博・高橋健一郎	




氏 名	古賀 毅	新座
入会年月日	2025年10月16日	
勤務先	有限会社 新生測量設計社	
役 職	取締役	
生年月日	1974年7月23日	
紹介者	森田輝雄・松岡昌宏	




氏 名	田中 安俊	所沢
入会年月日	2025年10月28日	
勤務先	野村證券㈱所沢支店	
役 職	支店長	
生年月日	1981年3月15日	
紹介者	富真正純	



氏 名	宮 佳武	入間南
入会年月日	2025年9月7日	
勤務先	㈱丸宮建装	
役 職	代表取締役	
生年月日	1982年10月7日	
紹介者	西澤正夫	



氏 名	武藤 勇弥	入間南
入会年月日	2025年9月30日	
勤務先	日本生命保険相互会社	
役 職	入間シティ営業部 営業部長	
生年月日	1992年7月8日	
紹介者	齋藤良徳	




氏 名	工藤 正行	本庄
入会年月日	2025年8月7日	
勤務先	株式会社 工藤造園土木	
役 職	代表	
生年月日	1973年12月1日	
紹介者	織田裕之・洪澤健司	




氏 名	坂本 和義	本庄
入会年月日	2025年8月7日	
勤務先	ケースオートエクスチェンジ	
役 職	代表	
生年月日	1979年8月28日	
紹介者	笠本盛・洪澤健司	




氏 名	境野 江里	本庄
入会年月日	2025年8月21日	
勤務先	株式会社 境野養鶏	
役 職	取締役	
生年月日	1982年5月7日	
紹介者	橋本和也・洪澤健司	



氏 名	清水 雅人	本庄
入会年月日	2025年8月7日	
勤務先	清水商店	
役 職	代表	
生年月日	1973年11月14日	
紹介者	織田裕之・洪澤健司	



氏 名	三田 彰	本庄
入会年月日	2025年8月7日	
勤務先	有限会社 ミタサイン	
役 職	代表取締役	
生年月日	1969年9月27日	
紹介者	長岡岡・織田裕之	




氏 名	金子 和彦	熊谷
入会年月日	2025年10月10日	
勤務先	有限会社 金子電気商会	
役 職	代表取締役	
生年月日	1957年12月17日	
紹介者	長谷川貴春・大谷公一	



氏 名	谷島 奈月	羽生
入会年月日	2025年9月16日	
勤務先	株式会社 オートネ	
役 職	取締役	
生年月日	1986年1月14日	
紹介者	奥澤直人・小野忠義	



氏 名	黒須 一雄	羽生
入会年月日	2025年11月11日	
勤務先	株式会社 クロス	
役 職	代表取締役	
生年月日	1975年12月26日	
紹介者	奥澤直人・田邊将宏	



会員数

【2025年9月】

グループ	クラブ名	会員数				
		2025年度初め	10月末	対年初増減	10月末女性会員	M Y R C 登録率 %
第1グループ	川越	103	104	1	5	45
	東松山	23	23	0	2	43
	小川	4	3	-1	1	0
	坂戸	31	33	2	1	30
	越生毛呂	7	7	0	1	1
	川越小江戸	14	14	0	2	50
	川越西	31	34	3	5	53
	鶴ヶ島	29	29	0	2	62
	川越中央	23	22	-1	1	32
	坂戸さつき	18	19	1	4	63
第2グループ	東松山むさし	33	34	1	3	38
	小計	316	322	6	27	38

第2グループ	朝霞	22	23	1	2	50
	志木	48	49	1	4	45
	富士見	40	40	0	0	56
	新座	25	26	1	3	18
	和光	4	4	0	1	100
	新座こぶし	10	10	0	3	70
	小計	149	152	3	13	56

第3グループ	入間	39	41	2	1	46
	所沢	68	70	2	6	32
	飯能	68	69	1	2	42
	新所沢	19	19	0	2	63
	日高	22	22	0	4	32
	所沢西	37	40	3	4	31
	新狭山	12	12	0	0	92
	所沢東	47	47	0	1	30
	入間南	39	44	5	1	54
	狭山中央	19	19	0	5	37
第4グループ	小計	370	383	13	26	46

第4グループ	深谷	56	57	1	4	46
	本庄	97	113	16	12	30
	秩父	54	54	0	1	50
	寄居	34	34	0	1	65
	岡部	19	19	0	2	70
	深谷東	74	74	0	0	40
	皆野・長瀬	8	8	0	0	25
	深谷ノース	28	31	3	2	48
第5グループ	小計	370	390	20	22	47

第5グループ	熊谷	97	99	2	4	51
	行田	52	53	1	4	15
	羽生	36	40	4	3	19
	加須	22	22	0	1	13
	熊谷西	6	6	0	0	50
	行田さくら	52	52	0	4	75
	吹上	5	5	0	0	80
	熊谷籠原	27	27	0	0	41
	熊谷南	26	29	3	2	41
	小計	323	333	10	18	43

区地	合計	1,528	1,580	52	106	42
----	----	-------	-------	----	-----	----

スケジュール

【2025年11月】

12月

14(日)【公式訪問】越生毛呂

14(日) 青少年交換クリスマスパーティー

20(土) R L I パートⅢ

21(日) 第2回カウンセラー会議及び
クリスマス会(米山)

1月

11(日) 青少年交換オリエンテーション

17(土) 次年度米山記念奨学生面接選考会
(予定)

19(月) 青少年オリエンテーション



ガバナー月信 12月号 2025-2026年度 Vol.6

2025年12月10日発行

国際ロータリー第2570地区 地区事務所

〒355-0028 埼玉県東松山市箭弓町2丁目5番14号

ガーデンホテル紫雲閣内

[TEL] 0493-21-2570 [FAX] 0493-21-2571

[mail] d-office@mail.rid2570.gr.jp

[Web] https://rid2570.gr.jp

[ガバナー月信編集委員会] 委員長: 菊池俊介 副委員長: 荻原之彦
委員: 佐藤道晴 八木拓也 細田智也